

# 令和5年度 事務事業評価表 ( 令和4年度実績 )

<b>事務事業名</b>		広聴事業費			<b>担当所属</b>	市民の声を聞く課		
<b>基本情報</b>	<b>分野</b>	9 都市経営	<b>事業期間</b>	令和2年度 ~				
	<b>基本施策</b>	2 適正かつ透明な行政運営の推進	<b>会計種別</b>					
	<b>推進施策</b>	4 広報広聴の充実	<b>実施計画</b>		<b>総合戦略</b>			
<b>事業概要</b>	<b>対象</b>	市民及び本市に関わりを持つ人						
	<b>意図</b>	まちづくりに対する市民の意思を幅広く聴取し、市民の声を活かしたまちづくりを推進していくとともに、市民と行政が相互に理解し合える市政の実現を図る。						
	<b>成果</b>	市民の声を広く聴取することで、事業の改善や市政への反映が図られる。						
	<b>手段</b>	まちづくり提言制度の実施 市長と市民が語り合う懇談会の開催 広報・ホームページ等を活用した市民アンケートの実施						
<b>指標</b>	<b>活動指標</b>	<b>指標名</b>		<b>単位</b>	<b>R2年度実績</b>	<b>R3年度実績</b>	<b>R4年度実績</b>	<b>R5年度見込</b>
		広聴事業の啓発回数	<b>目標値</b>	回	12	12	12	12
			<b>実績値</b>	回	10	11	14	-
			<b>目標達成度</b>	%	83.3	91.7	116.7	-
<b>コスト</b>	(単位：千円)		<b>平成31年度 決算</b>	<b>令和2年度 決算</b>	<b>令和3年度 決算</b>	<b>令和4年度 決算</b>	<b>令和5年度 予算</b>	
	<b>トータルコスト</b>		0	21,665	13,290	12,158	10,629	
	<b>事業費</b>		0	200	149	52	252	
	<b>特定財源</b>	<b>国庫支出金</b>	0	0	0	0	0	
		<b>県支出金</b>	0	0	0	0	0	
		<b>地方債</b>	0	0	0	0	0	
		<b>受益者負担</b>	0	0	0	0	0	
		<b>その他</b>	0	0	0	0	0	
	<b>一般財源</b>		0	200	149	52	252	
	<b>人件費合計</b>		0	21,465	13,141	12,106	10,377	
<b>正職員</b>		0	21,465	13,141	12,106	10,377		
<b>正職員以外</b>		0	0	0	0	0		
<b>(事業費集計済分)</b>		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
<b>人員</b>	<b>正職員 (人)</b>	0.00	3.00	1.85	1.68	1.44		
	<b>正職員以外 (人)</b>	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
<b>環境変化等</b>	<b>開始時の周辺環境</b>							
	市民に寄り添い、市民の声を聞き、市民と分かり合える市政の実現を図るため、令和2年度、新たに市民の声を聞く課を創設した。							
	<b>現状の周辺環境</b>							
市民の声をしっかり伺い、市民との協働によるまちづくりを推進することが重要である。								
<b>今後の予想される周辺環境</b>								
今後も、市民と協働によるまちづくりが不可欠であり、市民と分かり合える市政の実現を進める必要がある。								
<b>評価</b>	<b>評価項目</b>		<b>評価</b>	<b>評価の理由</b>				
	<b>受目的性</b>	1. 市の関与（税支支出）		A	市民の意見や提案を幅広く聴取するため、制度について市民への周知・啓発に取り組む必要がある。			
		2. 事務事業の目的（対象・意図）		A				
		3. 事務事業の目標（活動指標等）		B				
	<b>有効性</b>	4. 計画の実施状況		A	広聴事業について広報紙やホームページを活用して周知及び啓発を図った。新型コロナウイルスの影響により実施回数を減らしていた市長と語るまちづくり懇談会を実施することができた。			
		5. 目標（活動指標等）の達成度		A				
		6. 上位施策への貢献度		A				
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		B				
	<b>効率性</b>	8. コスト削減へのさらなる取組み		A	より多くの市民の意見や意識を把握することができるよう、実施方法について今後も検討する必要がある。			
		9. 類似事業との統合・代替の検討		A				
10. これまでの実施手段		B						
<b>総合評価</b>	A		市民の声を活かしたまちづくりを進め、市民と行政が相互に理解し合える市政の実現を図るため、市民への広聴事業の周知や実施方法などの検討を進める。					
<b>改革案</b>	<b>今後の実施方向性</b>	維持	今後も継続して市民の意見を積極的に聴取し、関係部署と連携のうえ市政への反映に努める。					
	<b>成果方向性</b>	成果維持						
	<b>コスト方向性</b>	コスト維持						
	<b>改革効果（どのような効果が期待できるか）</b>							
今後も事業を継続して実施することで、市民の意見や意識を把握することができ、市民と分かり合える市政の実現が可能となる。								

# 令和5年度 事務事業評価表 ( 令和4年度実績 )

<b>事務事業名</b>		市民参画推進事業費			<b>担当所属</b>	市民の声を聞く課		
基本情報	<b>分野</b>	9都市経営		<b>事業期間</b>	平成19年度 ~			
	<b>基本施策</b>	2 適正かつ透明な行政運営の推進		<b>会計種別</b>				
	<b>推進施策</b>	5 市民参画の推進		<b>実施計画</b>		<b>総合戦略</b>		
事業概要	<b>対象</b>	市内に住む人、働く人、学ぶ人及び市内に事務所又は事業所を有するもの						
	<b>意図</b>	市民参画条例の実効性を高め、市民の市政への参画を促進する。						
	<b>成果</b>	市民参画条例の実効性を高めることで、市民の市政への参画が促進され、市民と協働によるまちづくりが推進される。市職員を対象とした研修を計画的に実施することで、市民参画の視点を持ち、市民の意見・提言を市の取組に展開できる職員の育成が図られる。						
	<b>手段</b>	審議会、パブリックコメントなどの市民参画について、広く市民、職員に周知し、市民と協働によるまちづくりを推進する。						
指標	<b>活動指標</b>	<b>指標名</b>		<b>単位</b>	<b>R2年度実績</b>	<b>R3年度実績</b>	<b>R4年度実績</b>	<b>R5年度見込</b>
		市民参画の啓発回数		回	2	5	15	15
				回	2	18	17	-
		<b>目標達成度</b>		%	100.0	360.0	113.3	-
コスト	(単位：千円)		<b>平成31年度 決算</b>	<b>令和2年度 決算</b>	<b>令和3年度 決算</b>	<b>令和4年度 決算</b>	<b>令和5年度 予算</b>	
	トータルコスト		1,350	2,000	6,350	6,204	8,032	
	事業費		261	211	312	223	466	
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		261	211	312	223	466	
	人件費合計		1,089	1,789	6,038	5,981	7,566	
正職員		1,089	1,789	6,038	5,981	7,566		
正職員以外		0	0	0	0	0		
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
人員	正職員 (人)	0.15	0.25	0.85	0.83	1.05		
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
環境変化等	<b>開始時の周辺環境</b>							
	市民の市政への参画を促進するなど、市民と協働によるまちづくりが求められる中、市民参画の手続きの透明性を高めるため平成19年に市民参画条例を制定した。							
	<b>現状の周辺環境</b>							
市民の市政への参画を促進するなど、市民と協働によるまちづくりが求められている。								
<b>今後の予想される周辺環境</b>								
今後も、市民と協働によるまちづくりが不可欠であり、市民の市政への参画が一層、求められる。								
評価	<b>評価項目</b>		<b>評価</b>	<b>評価の理由</b>				
	受目的性	1. 市の関与（税金支出）	A	市民参画条例に基づき、市民参画を推進した。より多くの市民参画が図れるよう、推進や啓発に取り組んでいく必要がある。				
		2. 事務事業の目的（対象・意図）	A					
		3. 事務事業の目標（活動指標等）	B					
	有効性	4. 計画の実施状況	A	市民参画条例に基づき、庁内の研修や啓発に取り組んだ。市民参画推進審議会の意見を参考にし、さらなる向上に取り組む必要がある。				
		5. 目標（活動指標等）の達成度	A					
		6. 上位施策への貢献度	B					
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	B					
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み	A	市民参画推進審議会からの市民参画の推進に関する意見を参考に、事業の充実や見直しに取り組む。				
		9. 類似事業との統合・代替の検討	A					
10. これまでの実施手段		B						
総合評価	A		市民参画推進審議会からの答申を参考にして、各課と連携して市民参画を図ることで、市政への関心を高め、市民と協働によるまちづくりを推進していく。					
改革案	今後の実施方向性	維持	毎年市民参画推進審議会から提出される市民参画の推進に関する意見を参考に、事業の改善に努めるとともに、職員研修会等を通じて市民参画を有効に運用できる人材育成を図るよう努める。					
	成果方向性	成果維持						
	コスト方向性	コスト維持						
	<b>改革効果（どのような効果が期待できるか）</b>							市民の市政への関心を高め、協働によるまちづくりを推進できる。